

京の大人の英知、注入マガジン

# 京都 CF

[シー・エフ]

## BACK ISSUES

お近くの書店でお求めにならない場合、ご希望の号数と部数をお電話もしくはファックスにてフェイム事務局までお申し込み下さい。在庫の確認をさせていただきます。その後、代金と送料を切手でお送りいただければ、到着次第ご送付いたします。

### 2003

No.232

2003.8th



特集  
例えばこんな  
川床の物語。

定価350円  
(送料108円/1冊の場合)

No.231

2003.7th



特集  
〇×帰りに  
一軒歌謡異状有り  
ウラ四楽烏丸

定価350円  
(送料108円/1冊の場合)

No.230

2003.6th



特集  
「古着」こそが  
最新型の着飾れ・重ね着文化  
京オトナ「古着」アゲイン

定価350円  
(送料108円/1冊の場合)

No.229

2003.5th



特集  
創作料理<X>割烹  
答えは「小割烹」

定価350円  
(送料84円/1冊の場合)

### 年間定価購読

1年間分の「京都CF!」を郵便振込が銀行引き落としにて、4000円(消費税200円)で予約購読していただけます。お電話もしくは巻末ハガキにてご連絡ください。改めてお申し込み用紙をお送りいたします。

### フェイム事務局

〒604-8134 京都府京都市中京区六角通堀丸東入1-1 大塚六角ビル2F  
TEL. 075-256-7555 FAX. 075-256-7557

ホームページからもお申し込みできます。

<http://m21.or.jp/fame>

こっそり部屋の本棚におきたくなるバックナンバーです。

# POWER PLAYS SOUND

Music is moistened our life.  
Tasteful album is here.  
We'd like to find your recommended one.



TAKE 6 greatest hits

### greatest hits/TAKE6

クレーン 2400円(税別)  
「TAKE6」といえば、生きる伝説(笑)。研究対象といっても過言ではありません。パンと聴いた感じではアカデミックな印象があるんですけど、思慮的なことよりも、やはりこの人達のすごさは肉声にあるんです(岡村)



FROM THE BOTTOM UP/BROWN STONE

東芝EMI 2500円(税込)  
「女性3人のヴォーカルグループなんですけど、何かと参考になることが多くて、全員で思いっきり声を出して、攻めるような感じがいいんですよね。本気で歌をやってます…みたいな(岡村)」

## 聴覚に福音をもたらす ハーモニーの申し子たち



### ROCK "N" POP/SMOOTH ACE

東芝EMI 2500円(税込)

カルチャークラブ、ボリス、シンディ・ローパーといった70~80年代の洋楽をカヴァーした最新のアルバム、「プロデューサーの切り口に驚きっぱなし。1曲目を聴いても、2曲目のアレンジは想像ができない(岡村)」



FOR YOU/山下達郎

BMGファンハウス 2400円(税別)  
「このアルバムは早稲田のサークル内でもパイプと呼ばれる(笑)。イントロだけで泣けちゃうような「スパークル」とか、サビのコーラスがとっても切ない「ふたり」とか、すごく高揚感あるんですよね(重住)」

## 月に1度は京もうで SMOOTH ACE/ヴォーカルグループ

<http://www.smoothace.com/>

年齢も生まれたところもバラバラで、唯一の共通点が「いつの間にか、歌ってた」ってこと。ゴスペラーズを輩出した早稲田の伝説的サークル「ストリート・コーナー・シンフォニー」で重住ひろこと岡村玄が出会い、HP上のメンバー募集で平慎也が愛知県からエントリー。専門学校でコーラスを学んでいた李真姫をスカウトして、現メンバーが完成した。なんの抵抗感もなく、耳にすーっと飛び込むリードヴォーカルと一点の曇りもない極上のハーモニー。パワーとカンでゴりゴり押すタイプより、緻密に音楽を構築してゆくタイプではなからうか。11月に発売される「ROCK "N" POP」では、日本屈指のサキソフオン奏者・清水靖晃氏をプロデューサーに迎え、70~80年代の洋楽をカヴァー。ピアノ・チェロ・バイオリンとのセッションで映画音楽をカヴァーした「IN THE MOVE」とは対極のエレクトロニカサウンドが登場する。「びっくり箱」とも揶揄されるSMOOTH ACEのアレンジは必聴なり!

## ダブルロールズ ミュージシャン



「音楽理論云々は必要だけど、一線を超えれば無類の可能性のある音楽」とジャズを評する清水さん、JAZZを中心に京阪神のライブハウスで活動する。



界隈の常客からはもっぱら「シミちゃん」の愛称で親しまれる。朝8:00まで営業しているため、同業業者や木曜日の終業駅としてサラリーマンの出勤時刻まで賑わう

### アーバンシューズInfo

■ライブ 未定  
■問い合わせ 「BAR SPACE FLAT 0214」  
☎075-212-0266

「現実」の二文字から二足の草鞋(ダブル・ロールズ)を天秤の皿の上で磨かざるをえない音楽人。夢と生業を計りにかけつつフルタイムで稼ぎ、音楽をこよなく愛する巨匠、それが「ダブル・ロールズミュージシャン」

## 「アーバンシューズ」の Vol.10 清水直樹

ジャズとカクテルの交差点に  
踏み入れる道を模索中

ロックを愛聴していた10代の頃、音楽の専門学校で出会った講師のジャズギター、「ホント衝撃でしたよ。頭で描くよりも先に感情でフレージングが出てくるんですから」と清水さんは言う。以来ジャズ一辺倒。これまで飲食店を転々とする傍ら、ギターリストとして自身のバンド以外にもセッションをこなし、猛然とプロを目指してきた。だが、「ショットバー」「フラット 0214」の店長を務め始めてこう思う。「店に集う客という「人」と出会えるのもまた魅力かな、自分を磨ってカウウンターに肩を寄せ合う人たちが夜を明かすたびに、「パーテンドー」としての己が明確になってきた。「僕もジャズも切り離すことができないもの」となった今、暫くは百感の赴くままに路を歩むのである。